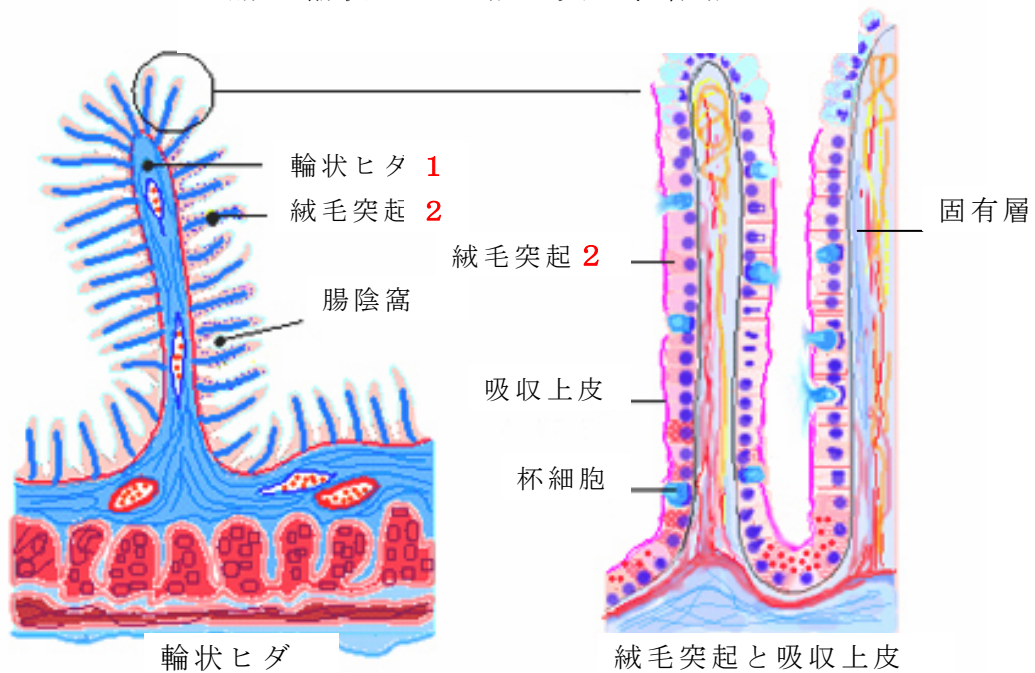
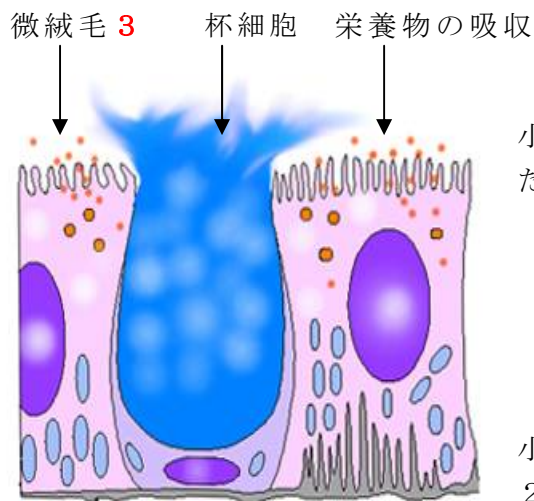


小腸の輪状ヒダと絨毛突起、微絨毛



栄養の吸収と微絨毛（刷子縁）



吸収上皮と杯細胞

小腸の栄養吸収装置

小腸は栄養を吸収する場所です。そのため構造が見られます。

- 1 輪状ヒダ
- 2 絨毛突起
- 3 微絨毛

吸収上皮のはたらき

小腸の上皮は単層円柱上皮からなり、2つの細胞が見られます。1つは栄養を吸収する上皮と、もう1つは粘液を分泌する杯細胞と呼ばれる単腺細胞で

す。吸収上皮は微絨毛という、栄養吸収装置を持つ細胞です。この微絨毛表面には種々な消化酵素があり、最終的に栄養素を分解消化し、細胞内に吸収します。これが微絨毛のはたらきです。ブドウ糖やアミノ酸は細胞基底膜外にある絨毛突起固有層内の毛細血管に入ります。

脂肪は脂肪酸とモノグリセリドとして細胞に級数された後で、再度脂肪に合成されます。これがカイロミクロンとなって固有層内のリンパ管に吸収されます。脂溶性ビタミンのA, D, E, Kもリンパ管に吸収されます。